

令和4年度 第3回スポーツ推進審議会 会議録

〔事務局〕 スポーツ課
〔開催日時〕 令和5年2月2日（木）午後7時00分～7時55分
〔開催場所〕 伊勢原市役所2C会議室
〔出席者〕 （委員）久保菌会長、平田副会長、沓澤委員、須山委員、
西野委員、荒巻委員、渡辺委員
（事務局）高橋健康づくり担当部長、細野スポーツ課長、
桐生ねんりんピック担当課長、遠藤スポーツ係長、
鎌田主査

〔公開可否〕 公開

〔傍聴人〕 0人

《審議の経過》

（資料）

- ・令和4年伊勢原市スポーツ賞表彰被表彰者について
- ・伊勢原市市民生涯スポーツ推進計画（案）について
- ・冬季ロードレース実施結果等について
- ・ねんりんピックかながわ2022剣道交流大会報告書

（会議録）

事務局：会議の開会を宣言。規則第4条に定める会議の定足数について、委員定数11名に対して7名の出席があり、定足数に達していることを確認。

会長：あいさつ

担当部長：あいさつ

会長：議題（1）「令和4年伊勢原市スポーツ賞表彰被表彰者について」の説明を事務局に求めた。

事務局：議題（1）について説明

- ・伊勢原市スポーツ賞表彰規程第6条2項に基づき、候補者をスポーツ推進審議会に諮るもの。
- ・表彰対象における「市内に所在する団体」の定義について、より明確にするため、内規に「市内に所在する団体とは、市内の公立学校のほか市内の法人、市内を所在地として法人登録している団体が運営するスポーツチーム、市内を事務所の所在地としている団体、市内のスポーツ関係団体（各スポーツ種目協会やスポーツ少年団）に加盟・登録している団体、対象大会の出場申込や出場推薦書において所在地を伊勢原市としている団体」を加える。
- ・令和4年の表彰候補者は合計24件。内訳は、スポーツ賞が個人8名と1団体。スポーツ奨励賞が個人14名と1団体となっている。

委員：表彰候補になっている団体について、伊勢原市在住のメンバーは団体内に
いるのか。

事務局：伊勢原市内の小中学生が団体メンバーとして登録されているが、表彰対象
大会に出場したメンバーが市外在住者のみであった。普段は市内の施設を
使用して活動している。

委員：表彰候補団体の数が少ない。

事務局：今回、「市内に所在する団体」の定義を明確にしたことで、表彰団体が今
後増えていくことを期待している。

委員：昨年に比べ表彰候補者が少ないが、理由はあるのか。

事務局：昨年は団体での表彰が多かったことが大きな理由である。団体が表彰対象
となると、団体内に市内在住者が多い場合は、個人の表彰対象者が増える。

会 長：議題（１）「令和４年伊勢原市スポーツ賞表彰被表彰者について」承認を求める。

委 員：全員賛成で承認

会 長：議題（２）「伊勢原市市民生涯スポーツ推進計画（案）について」の説明を事務局に求めた。

事務局：議題（２）について説明

- ・パブリックコメント実施結果について、資料に基づき説明

委 員：民間スポーツジムとの連携について、他市の状況はいかがか。

事務局：他市の連携事例はあまり無い。ただ、市内に民間スポーツジムは複数あるので、連携について今後検討していきたい。また、公共施設については、伊勢原市近隣の自治体と相互利用協定を結んでおり、それぞれの自治体の市民と同じ料金で公共施設を利用することができる。

委 員：伊勢原市市民生涯スポーツ推進計画に参考資料を追加した理由は、パブリックコメントを受けてのことなのか。

事務局：参考資料は、当初から追加する予定であった。

会 長：議題（２）「伊勢原市市民生涯スポーツ推進計画（案）について」承認を求める。

委 員：全員賛成で承認

会 長：議事の円滑進行の御礼

事務局：その他事項より事務局にて進行

事務局：その他事項（１）「冬季ロードレース実施結果等について」説明

- ・市民走れ走れ大会、伊勢原駅伝競走大会の開催報告
- ・大山登山マラソン大会、かながわ駅伝競走大会の概要説明
- ・ねんりんピックかながわ2022剣道交流大会の開催報告

事務局：今回をもって、本年度の審議会の日程は全て終了。

副会長：閉会のあいさつ

以 上